



むらぐち 鉄哉 議員

やっと2回目の質問が終わりましたひと息

問 農業就労者への支援は

町長 来年度に向けて検討したい

農業就労者

住居支援策

問 民間賃貸住宅整備などへ支援の補助は。

町長 町内の雇用主および町内事業所から入居申込みがあった場合、職員住宅などに入居できるように管理規則を改正したい。

問 湧別町では、20平方メートル以上の賃貸住宅を建設する場合、1戸56万円の補助があり、町内業者が行った場合は、その2倍の補助制度があるが支援の考えは。

町長 来年度の予算に向けて検討したい。

農業就労者

雇用支援策

問 雇用契約しているきようだいや従業員の支援の考えは。

町長 後継者などの支援はあるが農業の雇用労働支援は考えていない。単に労働を支援するのではなく、定住や永住対策として質問しているが。

町長 定住対策として検討したい。

外国語表記の

ごみ収集カレンダー

問 ごみ収集日など外国人に理解される外国語表記の考えは。

町長 8月末現在、9カ国65人の外国籍の方が住人となっており、今後雇用主の意見を聞きながら、検討していきたい。



雇用主の設置した農業就労者住居

問

下水汚泥の堆肥化は

循環型社会を構築し
検討する

町長

町営牧場などで利用

問 下水汚泥の年間処理量と費用は。

町長 現在、置戸町堆肥供給センターで処理されており、令和4年度処理量約290トン処理費用約470万円である。

問 令和5年度予算では処理費税込約660万円をかけて、さらに堆肥として町営牧場で購

入している。

すでに下水汚泥堆肥として農林水産大臣から認められている物から再度多額の負担をしない用するのではなく、直接町営牧場や町堆肥供給センターなどで利用する考えは。

町長 今後循環型社会の構築と下水道会計の負担も考慮しながら時間は要するが検討していきます。



下水汚泥脱水機

このほかに「国、北海道が行っている給付金などの周知について」の質問をしました。



村口議員の一般質問を視聴できます